

2021年(令和3年) 9月16日

**JAPIC国土・未来プロジェクト研究会**

**豪雨災害に関する緊急提言  
シンポジウム  
【ご挨拶】**

**(一社)日本プロジェクト産業協議会**

**国土・未来プロジェクト研究会 委員長**

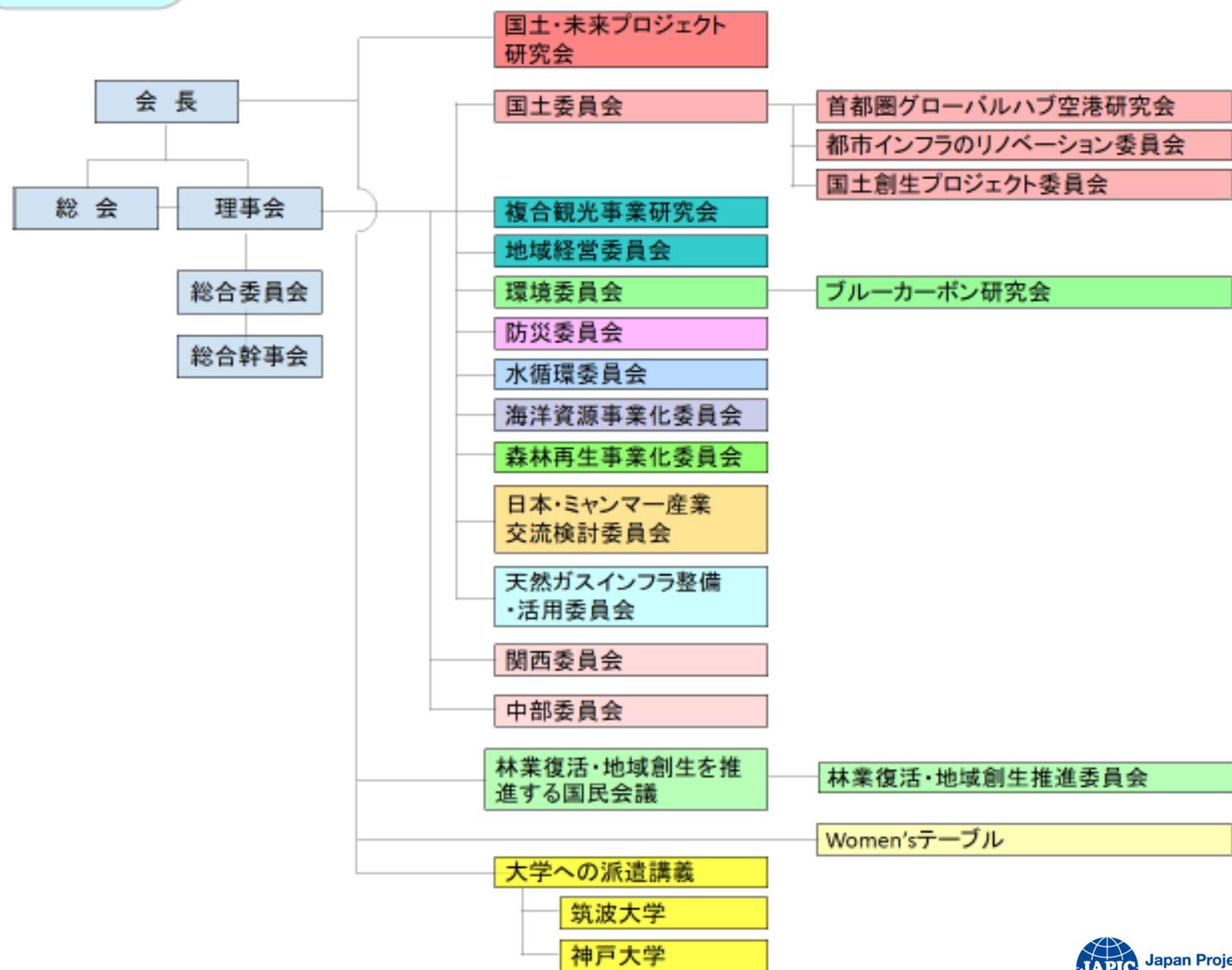
**(パシフィックコンサルタンツ株式会社 特別顧問)**

**藤本 貴也**

# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## 組織図

## 一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)



# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## □ 国土・未来プロジェクト研究会発足の背景

### 低迷する新たなプロジェクトの提案

- 現在進められ、完成しつつある骨太のインフラ・プロジェクトの大半は、30年以上前の長期計画による
- 「四全総」(昭62年策定) までは、「長期的な投資見通し」と「新たな骨太のプロジェクトの提案」を先導してきたが、それ以降はバブル崩壊の影響もあり、新しい具体的なプロジェクトの提案は抑制
- 本研究会では、インフラ整備に関する定性的な理念ではなく、出来るだけ具体的なプロジェクトを提案

# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

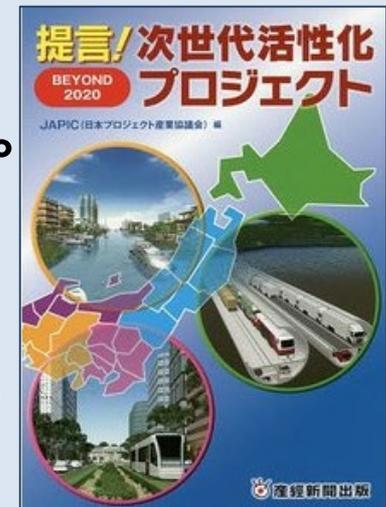
## □ 国土・未来プロジェクト研究会とは

### 組織

最高顧問	中村 英夫 <JAPIC副会長>
委員長	藤本 貴也 <パシフィックコンサルタンツ(株)特別顧問>
委員・幹事	民・官・有識者により構成 <約50団体>

### 活動概要

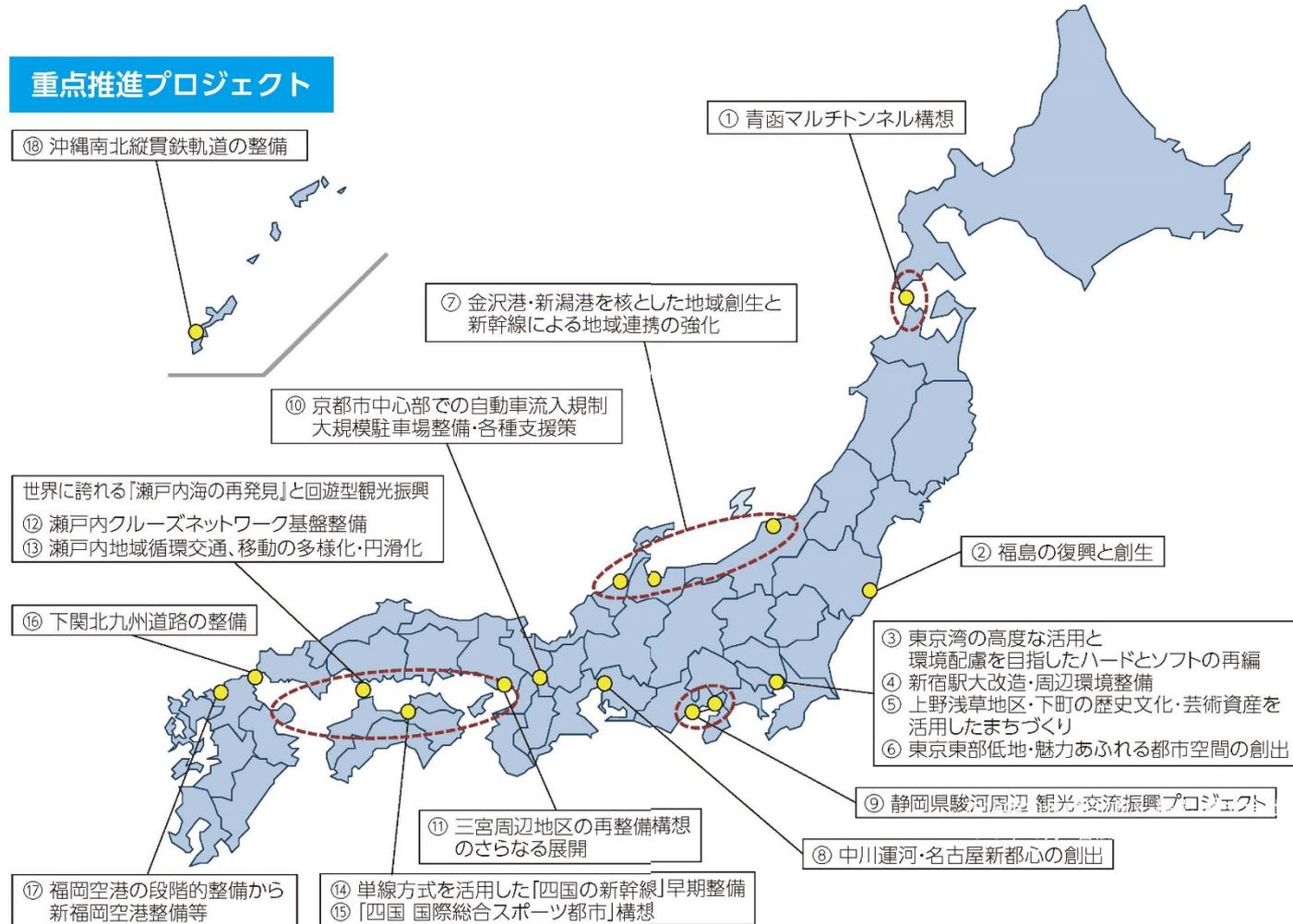
- ・2015年8月 研究会設立。
- ・2017年11月「提言！次世代活性化プロジェクト」発行。
- ・国土の活性化に資するハード・ソフト両面にわたる具体的なプロジェクトの提言・推進を行う。
- ・行政等、関係団体へのヒアリングや独自検討を行い、プロジェクトの実現に向けて取り組む。





# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## □ JAPIC提言プロジェクトの全体像（重点推進） （18プロジェクト群）



# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## □ JAPIC提言プロジェクトの全体像（推奨） （22プロジェクト群）



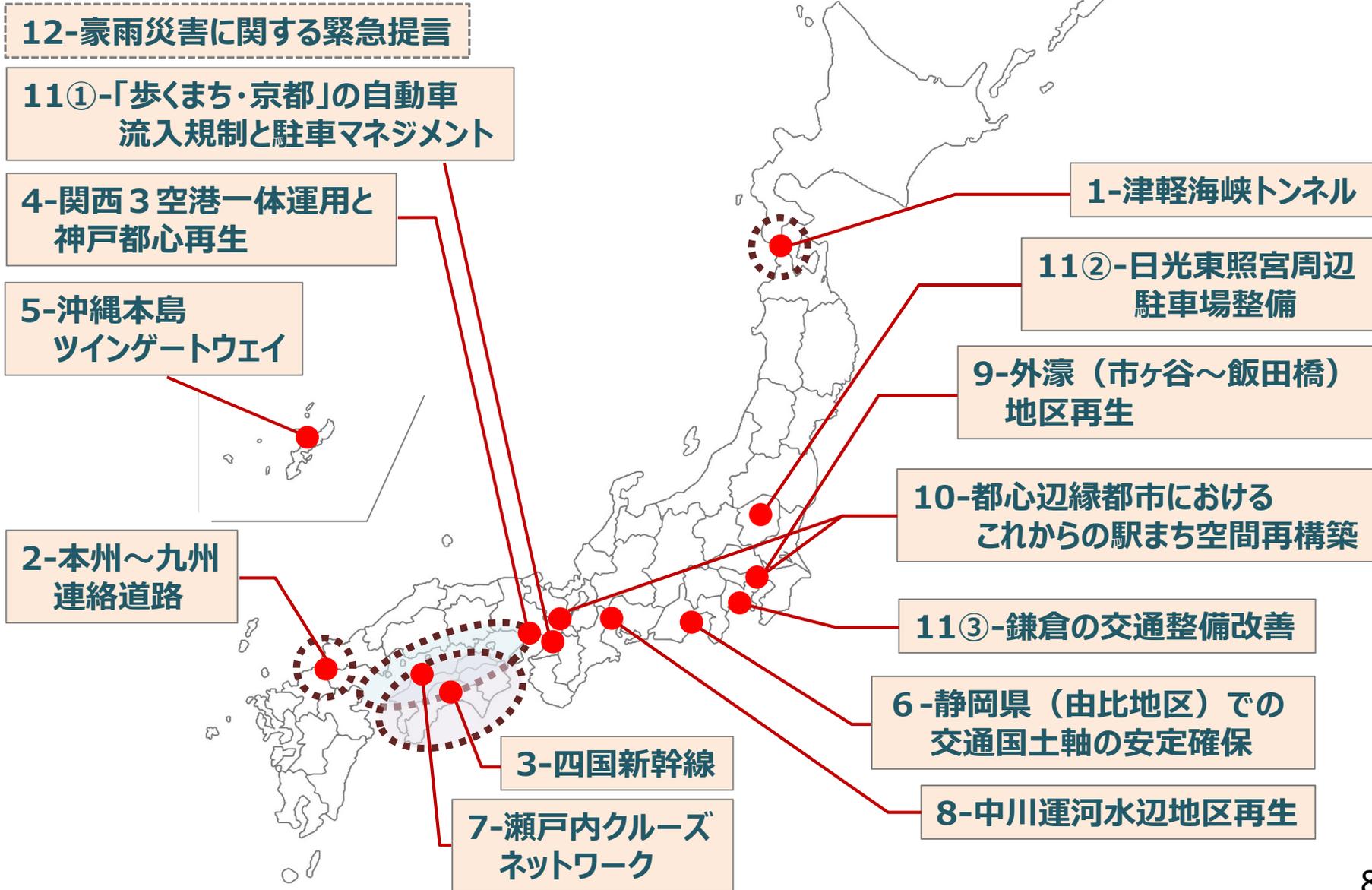
# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## □ 提言後の活動 ～重点プロジェクトについてのフォローアップ～

- プロジェクトごとにチームを再編し、以下について検討を行う
  - ・計画段階・設計施工段階
  - ・事業の必要性・整備効果
  - ・事業手法（PFI他）
  - ・プレゼンテーションの方法（パース、アニメ、模型等）
  - ・発信方法（シンポジウム等）等について、各プロジェクトの状況に応じて対外的にアピールできる内容を検討する
  
- プロジェクトごとに、ある程度まとまった段階で適宜公表していく

# 1. 国土・未来プロジェクト研究会における活動状況

## 重点プロジェクト



# 2. 令和2年7月豪雨と緊急提言

## 令和2年7月豪雨の浸水被害の状況

出典：国土交通省資料

- 今回の豪雨により、球磨川（くまがわ）や筑後川（ちくごがわ）など国が管理する**8河川**※1、都道府県が管理する**194河川**※1で氾濫などの浸水被害が発生。
  - 全国で**約13,000ha**※2が浸水。（浸水はすでに解消済）
- ※1 国土交通省「令和2年7月豪雨災害による被害状況等について（第49報）」（令和2年8月24日）  
※2 国土交通省調べ、速報値であるため、今後数値が変更となる場合がある。



久留米市や佐賀市などで**約9,000ha**、**約2,000戸**が浸水



人吉市、球磨村などで**約1,060ha**、**約7,400戸**が浸水

※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。



※このほか、**最上川（東北）、江の川、神野瀬川（中国）、吉野川（四国）**で氾濫が発生

## 2. 令和2年7月豪雨と緊急提言

### □脆弱な国土と厳しい自然条件

① 国土形状	南北2,000km、東西2,000kmに及ぶ細長い国土
② 四 島	海峡により陸地が分断。多数の島しょ部で構成
③ 脊梁山脈	細長い国土を山脈が縦貫。河川は急勾配で短い(国土は109の一級水系と2,722の二級水系が作る分水嶺で細かく分割)
④ 平 野	河口部と山間盆地に狭い平野が分散。国土面積に対する比率小(低地:12.7%、台地:11.9%)。大都市は氾濫区域内
⑤ 軟弱地盤	大都市区域のほとんどが軟弱地盤の上にある
⑥ 地 震	M4.0以上の地震の約10%が日本で発生
⑦ 豪 雨	多雨:地球総平均の2倍以上の年間降雨(1,400~1,600mm)。梅雨末期と台風期に集中(⇒脆弱な水資源、災害リスク大)
⑧ 強 風	台風の通り道に沿うかたちで列島が展開
⑨ 豪 雪	国土面積の60%が積雪寒冷地域(年間累計降雪深4m超)

出典:大石久和講演会資料に加筆

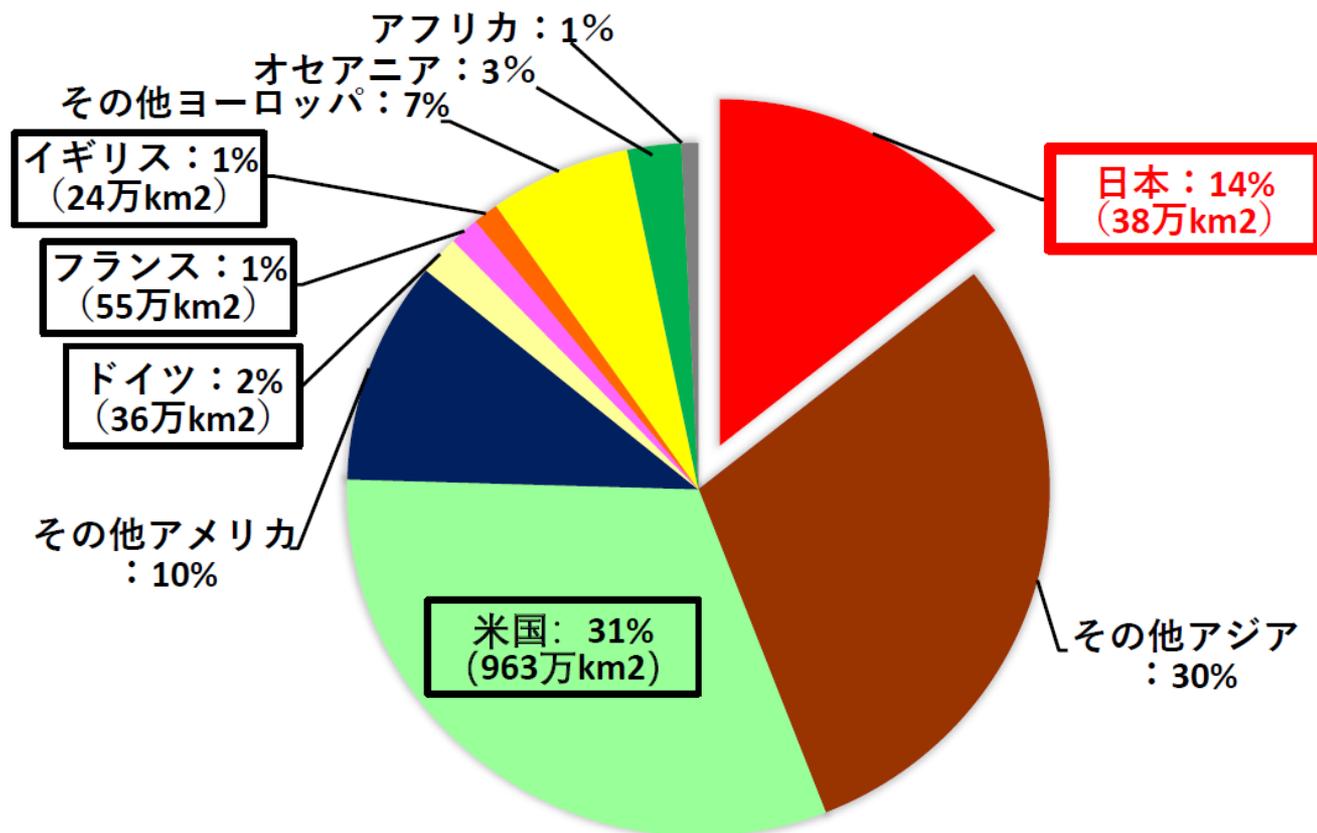
## 2. 令和2年7月豪雨と緊急提言

### □日本の災害の国際比較

#### 世界における我が国の1985年～2018年までの自然災害の被害額

- 世界の自然災害被害額の14%が日本で発生(国土面積は0.25%)。
- 脆弱な国土のため、欧米諸国に比べ余分な防災投資が必要。

自然災害被害額 (億ドル)

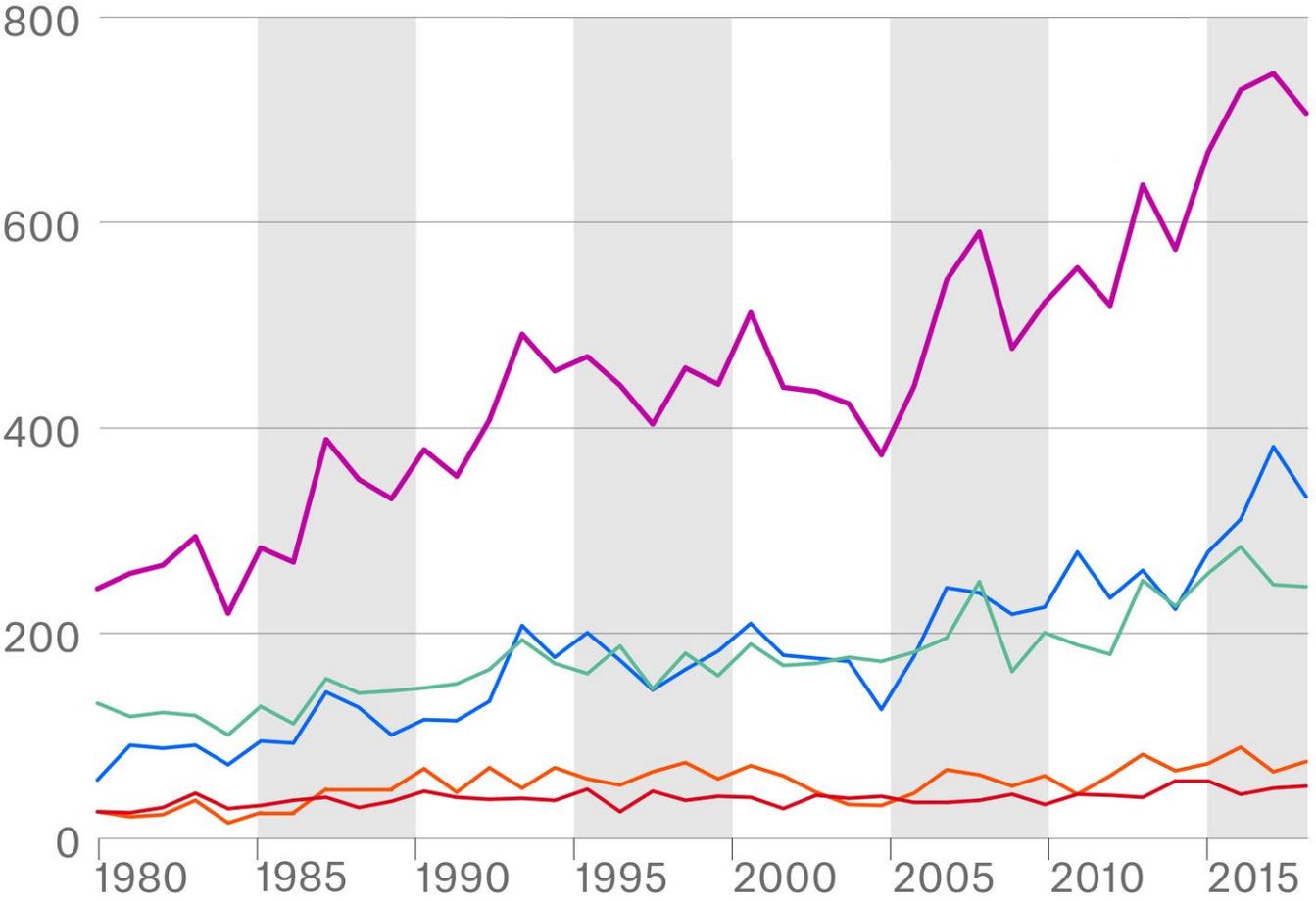


出典:2019年版 中小企業白書を基に作成

# 2. 令和2年7月豪雨と緊急提言

## □ 気候変動により広域化・長期化・深刻化する水害

- 世界の自然災害は水・気象関連が多い(40%以上)
- 発生件数は増加の一途



全災害計

種別 (2017 比率)	災害例
水関連 (47%)	洪水、土砂災害、 雪崩、沿岸洪水
気象 (35%)	熱波、寒波、落雷、 竜巻、高潮
気候 (11%)	旱魃、氷河湖決壊、 山火事
地球物理 (7%)	地震、津波、火山

※1人以上死者が出た災害 及び  
一定規模の被害額(国により異なる)で出た災害をカウント

# JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 豪雨災害に関する緊急提言ワーキング

## <JAPIC国土・未来プロジェクト研究会>

最高顧問 中村 英夫 (一社)日本プロジェクト産業協議会 副会長

委員長 藤本 貴也 パシフィックコンサルタンツ株式会社 特別顧問

## ●豪雨災害に関する緊急提言ワーキング● ※五十音順、所属・役職は在任当時

荒木 千博 株式会社建設技術研究所 東京本社河川部長

安齊 孝仁 (一社)日本プロジェクト産業協議会 顧問

《WG長代理》 越智 繁雄 大成建設株式会社 執行役員

角田 光男 元東京都市大学講師、地域防災ジャーナリスト

加藤 孝明 東京大学生産技術研究所教授

黒川純一良 (公社)日本河川協会 参与

《WG長》 関 克己 (公財)河川財団 理事長

飛田 茂実 (一社)不動産協会 事務局長代理 (住友不動産株式会社)

林 敦 株式会社みずほ銀行 証券部長

深澤 敦志 (一財)日本建設情報総合センター 理事長

藤井 健 株式会社東急総合研究所 顧問

松谷 春敏 株式会社IHI 顧問

山崎 智之 株式会社日本政策投資銀行 地域企画部PPP/PFI推進センター課長

《事務局》 (一社)日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)